

2019年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	2
				コース等	スポーツ
	使用教科書		教育図書 「新家庭基礎」	履修単位数	2
学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。			評価の観点	定期試験を軸に、授業への積極的な態度および課題の提出状況などを総合的に評価する。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	第1章 青年期と家族 ①これからの人生に向かって 青年期の自立と共生	・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の大切さを理解する。 ・青年期の自立について考え、男女の社会的役割について理解する。 ・家族とは何かを様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く。 ・家族・家庭に関する法律を学び、現在の動きを把握する。 ・家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。			
5	②家族って何だろう？ 家族の役割、家庭の機能 家庭の機能				
《第1回定期試験》		実施しない			
6	第2章 保育 ①子どもの成長を見つめる	・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について考え、親の役割や子どもを生き育てることの意義を学ぶ。 ・現代の子どもを取り巻く環境の問題について理解し、社会全体で子育てを支援し、環境整備を行うことの重要性を理解する。 ・日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的視点から理解する。 ・食生活の多様化や環境の変化を知り、現代の食生活の課題を考える。 ・食品の衛生と安全について理解し、適切に取り扱うことができる。			
7	②子どもの世話をしてみよう ③子どもを取り巻く環境				
9	第4章 食生活 ①食生活を見つめよう ②私たちが食べているもの ③安全・安心な食品を選ぼう				
《第2回定期試験》		実施する			
9	④献立と調理 第3章 高齢期	・調理の基本的な技術を身につけ、健康と安全を考えた調理ができる。 ・高齢者を未来の自分として捉え、高齢期の心身の変化や特徴、その生活について知り、個人または社会的な支援のあり方について考える。 ・我が国の高齢者福祉の現状を理解し、高齢者を支える制度と課題を考える。 ・安全で快適かつ環境にも配慮した住生活を送るための知識を身につける。 ・住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解する。			
10	①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる				
11	第6章 住生活 ①私たちが暮らす場所				
《第3回定期試験》		実施しない			
12	第5章 衣生活 ①なぜ服を着るの？ ②私たちが着ているもの ③衣服の管理を学ぼう	・ライフステージや目的に応じた被服の機能を理解し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や選択ができるようにする。 ・被服材料の特徴や汚れ落ちの仕組みを理解し、正しく被服を管理する。 ・被服製作「コンパクトバッグ」を通して、目的に応じた縫い方を工夫し、基本的な裁縫技術を身につける。(手縫い、ボタン付け、ミシンの使い方) ・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。			
1	第7章 消費生活・環境 ①何をどうやって買う？				
2	①何をどうやって買う？				
《第4回定期試験》		実施する			
3	第8章 生活設計 ①目標を持って生きよう！	・地域社会の一員として、支え合う大切さについて理解する。 ・生涯を見通した生活設計の重要性について理解する。			
副教材	『家庭科55GOGO資料集』教育図書				